

Title	健康と医療をめぐる考察-価値観の視点から-
Sub Title	
Author	小野純一郎(Ono, Jiyunichirou) 藤枝省人
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1983
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1983年度経営学 第258号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001983-0258

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 小野 純一郎 主査 藤 枝 省 人
(藤沢薬品工業株式会社) 副査 古 川 公 成
所属ゼミナール 田 中 滋 研 田 中 滋

健康と医療をめぐる考察 —価値観の視点から—

医療保険財政の逼迫を機に、医療に関する話題がさまざまな角度からテレビ・雑誌を始めとするマスコミによってとりあげられるようになった。これは人々が医療に示す関心を反映するものではあるが、その多くは分析そして批判する際の視点が不明確であり、表面的な矛盾や非効率を捉えるレベルにとどまる点に不満を感じる。また、医療分野の扱う財やサービスが人間の生命に関わる部分を含んでいるがゆえに医療を論理的あるいは合理的に捉えることに対する抵抗が必要以上にみられる現状に疑問を感じる。

本研究の目的は、医療財政の赤字や一部の悪徳医師・悪徳医療機関に対する短期的な対策の提示におかれているのではない。医療問題の根本的な原因を探り、健康という目標に対する医療の役割を明確化することこそ、本論文の目ざす目標である。

第1のステップでは「健康」・「病気」および「医療」の意味を問い直し、それらに対する人々の認識や価値観の明瞭化により、医療の現状を認識し分析するための視点を確立する。

次に、それらの視点に照らして医療の現状を一般国民すなわち潜在的需要者の立場から分析・批判し改善への方策を提言する。

本論文で示した考察は、我が国の医療の将来を考えていく上で若干の貢献をなし得るものと考えらる。